

日本OTC医薬品協会 定例記者会見

セルフメディケーションが 人を守り、医療を守る

会長 上原 明

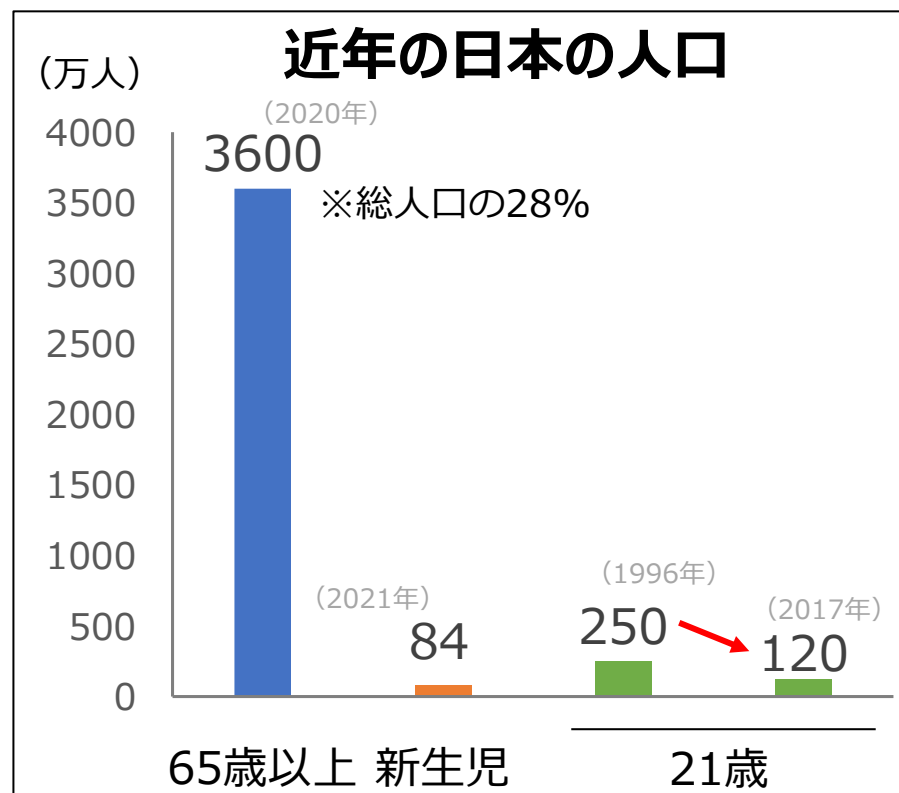
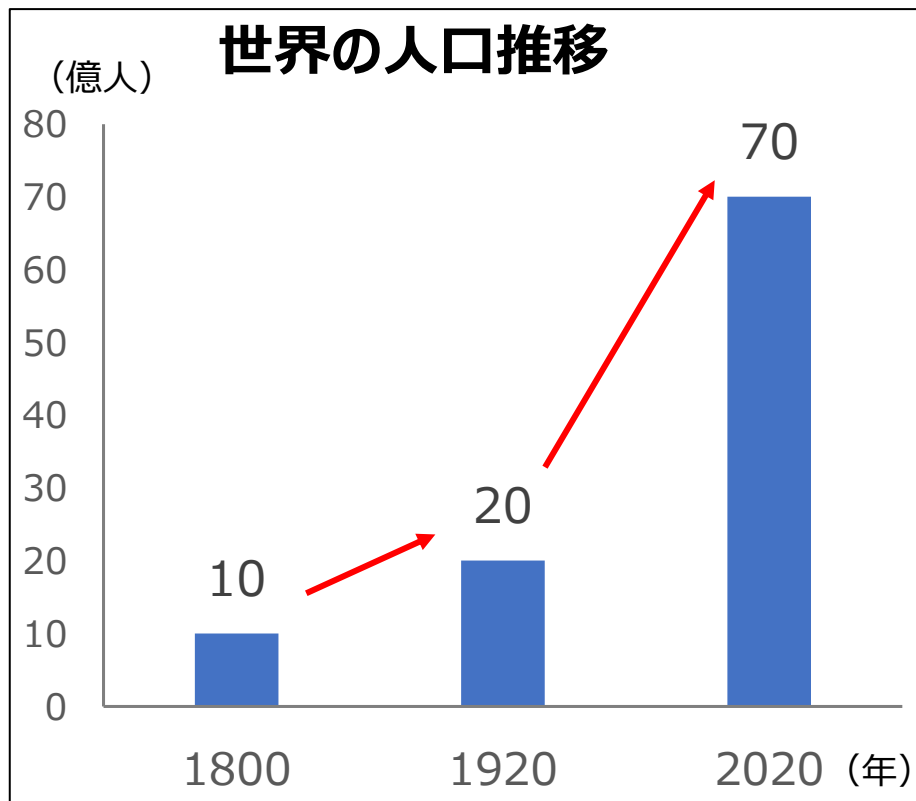
2022年 5月 16日

1. 着眼大局（今の時代）

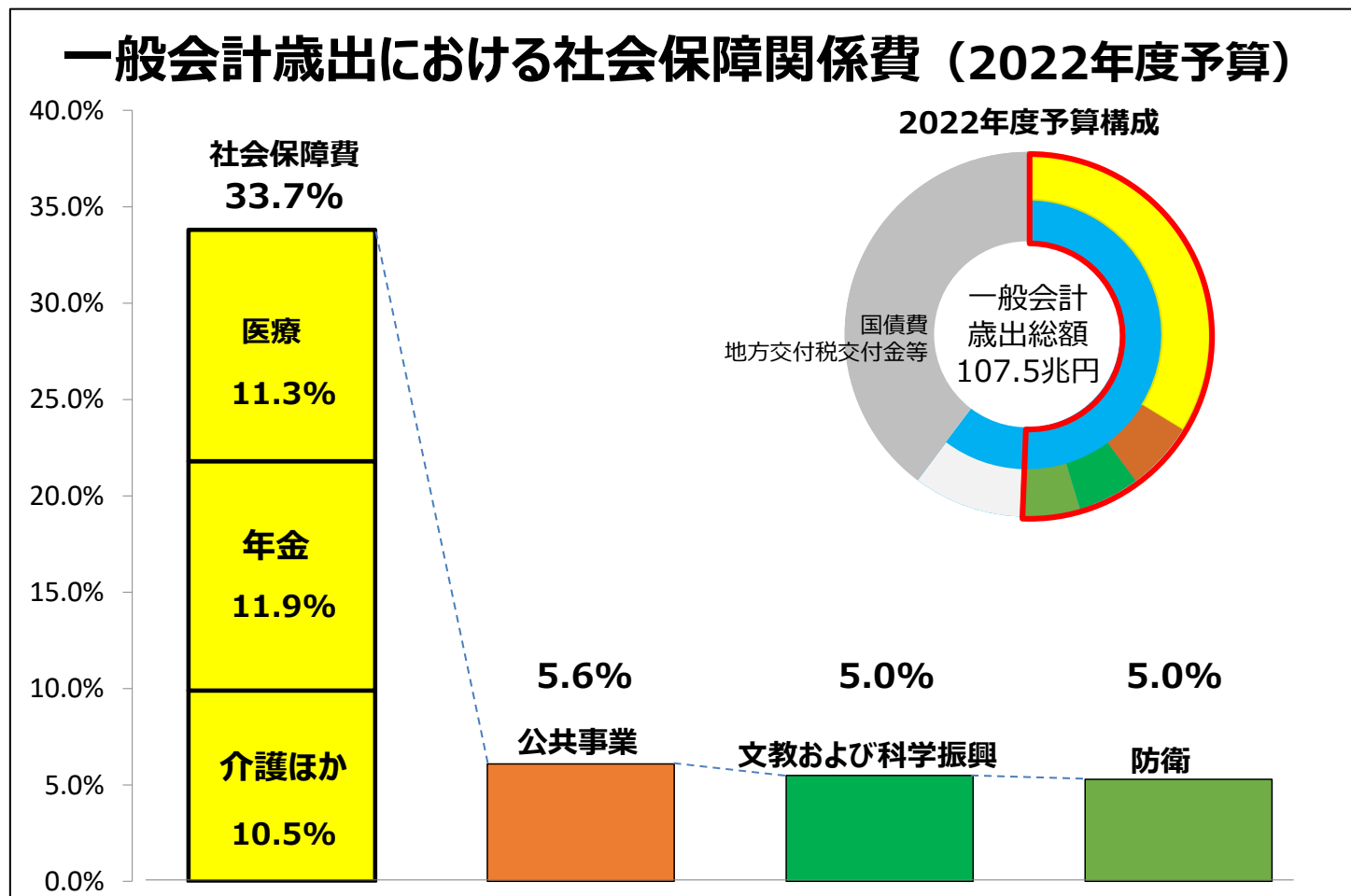
「医療費の効率的・効果的使用を後押しし、
国民皆保険制度を守る」

2. 着手小局（グランドデザイン、事業活動計画）

1. 着眼大局（人口増加→高齢長寿社会の出現）



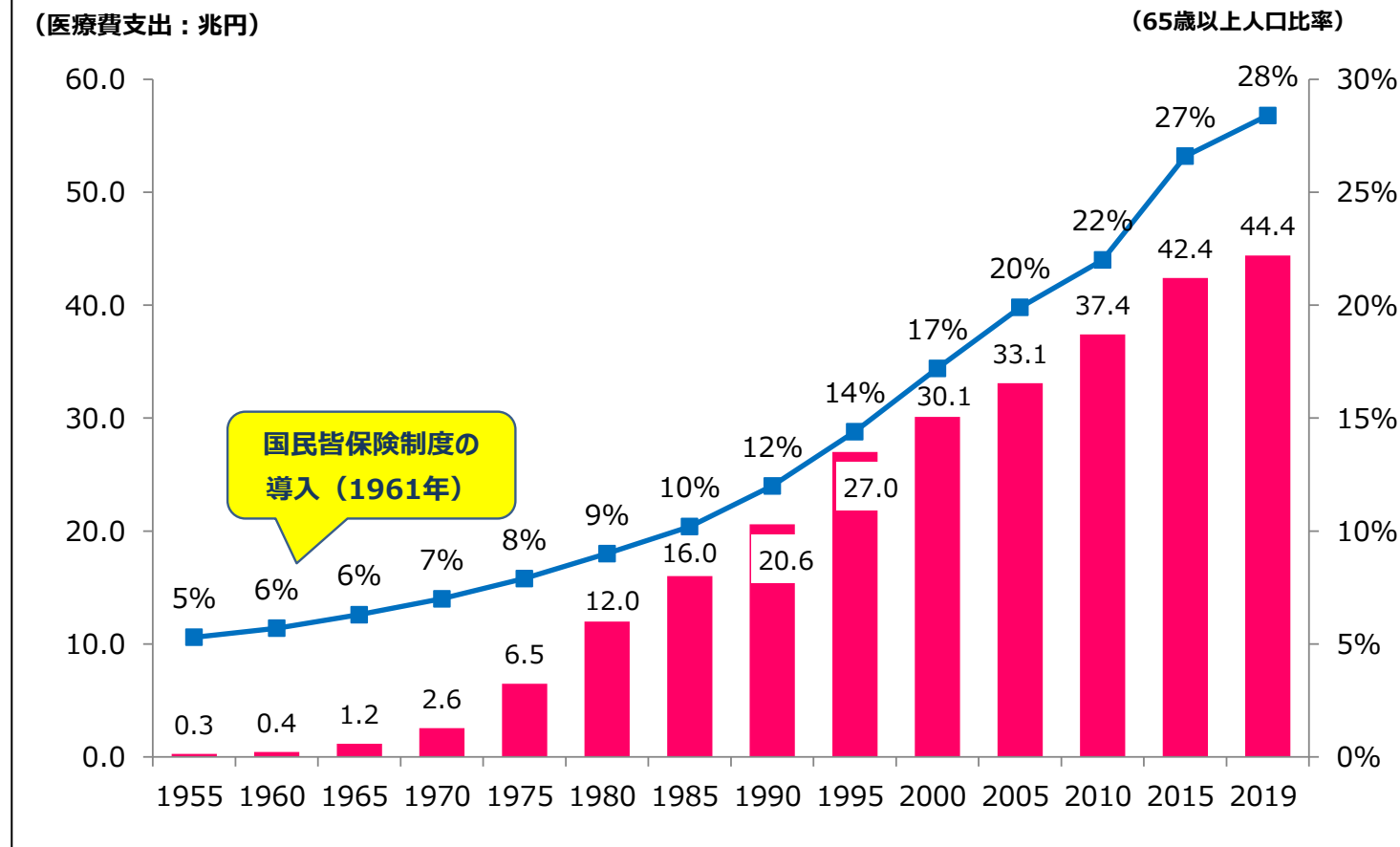
1. 着眼大局（社会保障費、医療費の膨張）



出所：財務省「令和4年度予算のポイント」「令和4年度社会保障関係予算のポイント」（2021年12月）

1. 着眼大局（社会保障費、医療費の膨張）

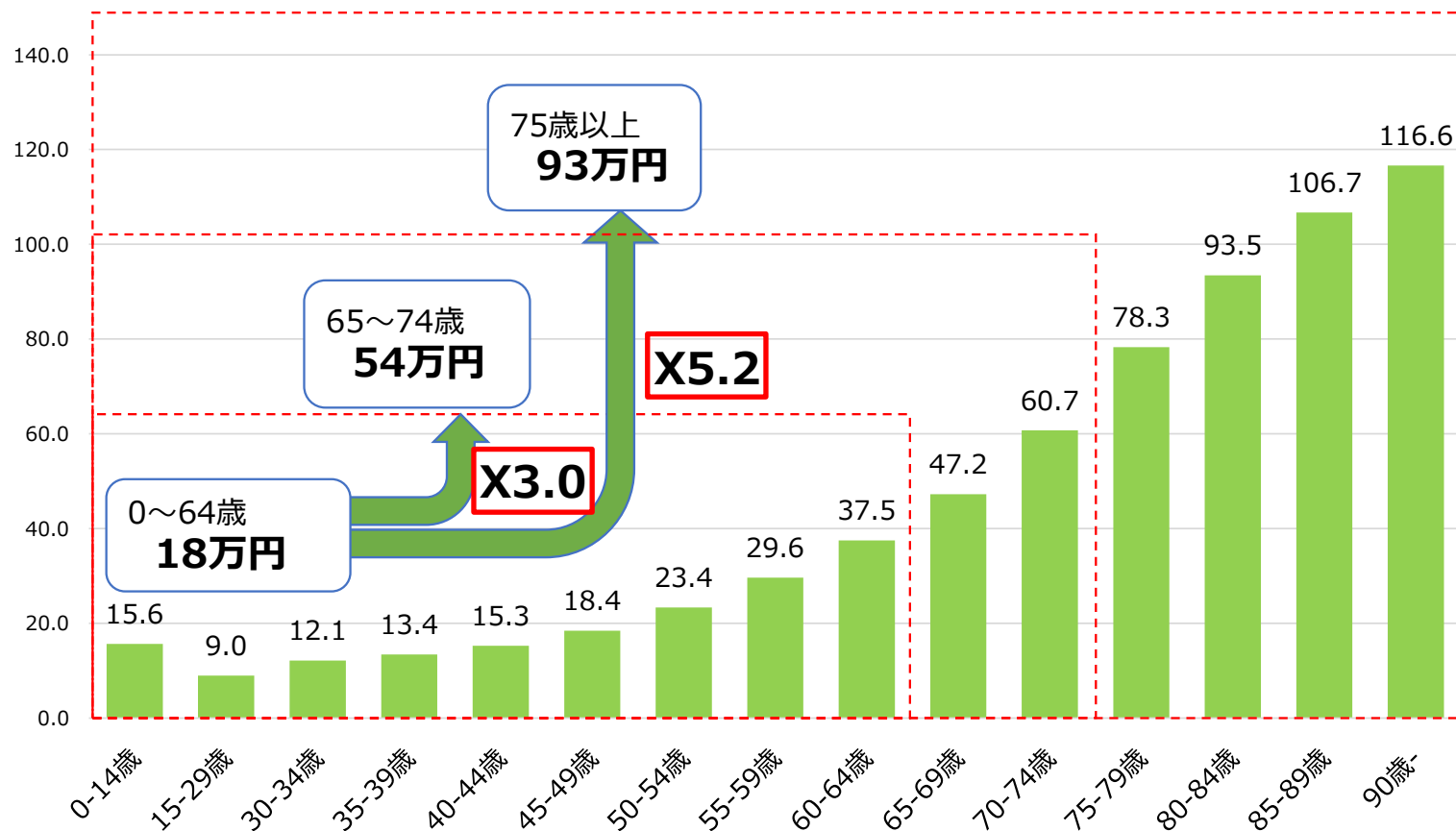
高齢長寿化と医療費支出の推移



1. 着眼大局（社会保障費、医療費の膨張）

2019年 年齢階級別1人あたり医療費（万円）

(万円/年)



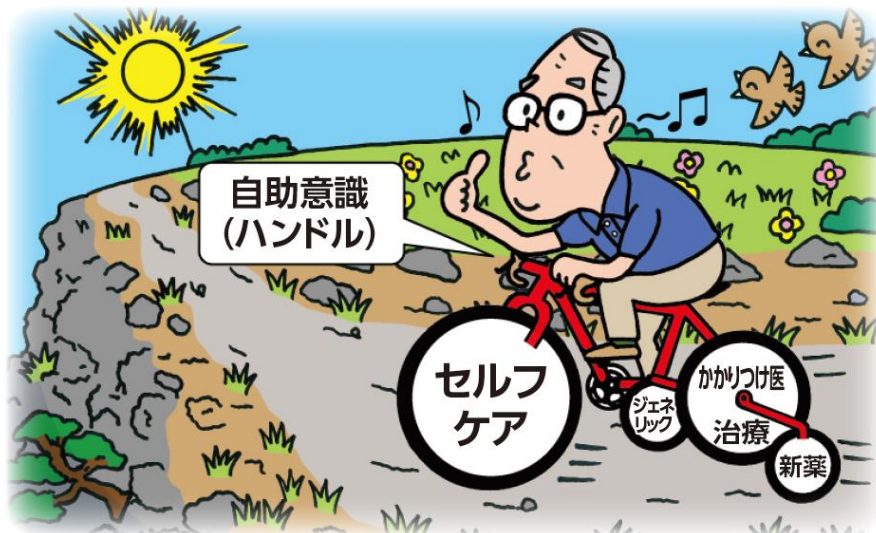
出所：厚生労働省保険局調査課 医療保険に関する基礎資料～令和元年度の医療費等の状況～ より推計

1. 着眼大局（生活者主体の社会）

- ・ 生活者主体の社会
 - －働き方の変化（共働き）
 - －サイバースペースの活用（情報入手、注文）
 - ↓
 - デリバリーシステムの発達
 - 小売業態の変化（業種商売→業態→ネット販売・移動販売）
 - オンライン診療、オンライン健康相談
- ・ 融合技術を活かした医療・診断技術の発展
- ・ 創薬研究・開発のあり方
 - －基礎、臨床、創薬、材料の協働研究

1. 着眼大局（OTC医薬品とその産業に求められる役割）

- ・ 医療費の効率的・効果的使用を後押しし、国民皆保険制度を守る
- ・ 健康リテラシーを高め、軽い病気はセルフメディケーション
「自分の健康は 自分のために 自分で守る」



生涯にわたり健康の道を進む人

- ・ 舗装された道…健康
- ・ 荒い道…軽度の疾病/疾病の手前で予防必要
- ・ 崖…重病

前輪（セルフケア）の構成



2. 着手小局（OTC医薬品産業グランドデザイン）

1) 生活者の行動変容を支援

- ・健康リテラシー向上の支援

- ーセルフメディケーション教育の普及に向けた行政への働きかけ（文科省、厚労省）
- ー教育資材の作成および利用促進に向けた働きかけ
- ー「セルフメディケーションの日／週間／月間」を国の公式行事にするための働きかけ

- ・専門家によるセルフメディケーション推進の支援

2) セルフメディケーションを実践しやすい環境作り

- ・セルフメディケーション税制の利用拡大の支援
- ・OTC医薬品／OTC検査薬の範囲拡大に向けた働きかけ
- ・生活者に分かりやすいリスク区分や表示への見直しに向けた検討

3) デジタルを活用したアジアへの進出支援

- ・各国規制の調和と緩和に向けた働きかけ
- ・日本のOTC医薬品のブランド価値向上に向けた情報発信

4) 地球環境問題への対応

- ・カーボンニュートラル（CO2削減）
- ・産業廃棄物の削減および再資源化の促進

2. 着手小局（2022年度 事業活動計画）

- 1) 国民の選択肢を増やすためのOTC医薬品の範囲拡大およびリスク区分の最適化
- 2) セルフメディケーション税制の利用拡大と効果の検証
- 3) セルフメディケーションの普及・啓発活動とデジタル・オンライン化への対応推進
- 4) アジア各国への進出を強化
- 5) 環境保全活動を推進

- 1) 日本が誇る国民皆保険制度を守るために、これらの活動を通し、生活者のセルフメディケーションを支援していきたい
- 2) 今後、活動を進めていく上で、様々な専門家、関係者や各種団体等と協調していくことが必須（医師、薬剤師、登録販売者、販売業、流通、マスコミ、行政等）
- 3) とくに厚生労働省医政局のセルフケア・セルフメディケーション推進室との連携を進めていきたい